

2011年度年会特別講演の取り扱いについて

2011年5月11日

理事長 宮岡 洋一

分科会評議員の皆様

平素より日本数学会の活動にご協力いただき、深く感謝いたしております。

本日は2011年度年会で予定しておりました特別講演について、特にその取り扱いについてご連絡することがありますので、この書簡をお送りします。

別紙として「数学通信」5月号の会報原稿を同封いたしております。これは、2011年度年会の一般講演のアブストラクトを秋季総合分科会で口頭発表するときの手続きに関するものですが、本日の書簡の目的と関連いたしますので、ご一読いただきますようお願いいたします。また、このことに関する会員への周知をよろしくお願いたします。

さて、本題である特別講演の取り扱いです。年会の特別講演者に次回の秋季総合分科会で特別講演を依頼する場合、これを年会で提出されたアブストラクトの口頭発表とみなすかどうかは基本的に各分科会のご判断に委ねたいと思えます。また、年会時の特別講演と独立のものとする場合は、できる限り、講演題目を修正いただき、アブストラクトに加筆していただきますようお願いいたします。学術団体としての日本数学会の存立に関わることでありますので、このようなお願いをする次第です。

この件に関するオンラインシステム上の取り扱いについて、秋季総合分科会に関するその他のお願いと一緒に、5月中旬ころにオンラインシステム担当の理事からご連絡いたします。

また、以上の件に関するご照会、お問い合わせは president@mathsoc.jp までお願いいたします。

別紙（「数学通信」 5月号会報原稿）

2. 2011年度年会の一般講演の口頭発表について

2011年度の年会の開催を中止したとき、3月20日に開催いたしました理事会において同日アブストラクト集が発行されたことによって予定されていた講演が成立したことを確認しました。このことをウェブ上の告知文

「2011年度年会で予定されていた講演の取り扱いについて」

<http://mathsoc.jp/meeting/waseda11mar/record2011.html>

で案内いたしました。その中で、2011年度年会で予定されていた一般講演のアブストラクトについて2011年度秋季総合分科会または2012年度年会で口頭発表することも可としました。学術的に公正な大会運営のために、この口頭発表に関して以下の特別な取り扱いをいたします。

- ▲ 講演題目、全講演者とその順序、アブストラクトの変更は認めません。ただし、口頭発表者と講演者の所属、使用するプレゼンテーション機器は変更を認めません。
- ▲ この取り扱いのために、オンライン講演申込・予稿投稿システムをカスタマイズします。具体的には、2011年度年会における講演申込者がシステムにログインした時点で、申し込んだ講演のリストが表示されて、そこで口頭発表の申込を行うことにします。認められている変更をするときは、通常通り講演申込内容の変更で行います。
- ▲ ここでの「講演申込者」は実際にオンラインシステムを用いて講演を申し込んだ会員および入会希望者を意味します。このことで不都合が生じる極めて稀なケースがあり得ると思いますが、その場合は [inquiry.mgate\(at\)mathsoc.jp](mailto:inquiry.mgate@mathsoc.jp) までご連絡下さい。また、入会希望者として年会で講演を申し込んでいて、4月23日（土）の時点で未入会の方には、担当理事からこの件で電子メールをお送りしています。
- ▲ このオンラインシステムのカスタマイズにつきましては、講演申込の開始までに詳細の情報を開催情報のページで公開します。
- ▲ アブストラクトは、2011年度年会で投稿されたアブストラクトのPDFを用いますが、第1ページの上部に「2011年度年会」とそのときの講演番号をヘッダーとしてオンラインシステム上自動的に加えることにします。

アブストラクトの講演内容を変更される場合などは、新規の講演として申込して下さいますようお願いいたします。